

事前課題事例

【プロフィール】

男性 23歳

障害名：頭部外傷・脳挫傷・急性硬膜下血腫による左片麻痺

身体障害者手帳：1種2級 左上肢機能障害（4級）・左下肢機能障害（3級）

障害履歴：

平成×年1月、大学4年（22歳）の時にA県にある企業への就職内定を機会に内定企業の社員寮の下見のために自動車運転中、カーブでセンターラインをはみ出してきた対向車（大型トレーラー）と衝突し頭部外傷および右脛骨骨折を負う。ドクターヘリにてA県立医科大学救命救急センターへ搬送、開頭血腫除去術及び外減圧術施行。急性期治療後、3月に大阪府下の回復期リハビリテーション病院に転院しリハビリ施行した結果、日常生活自立まで回復し6月15日に自宅退院。通院でのリハビリを希望し8月末まで週1回の通院リハビリを利用。頭蓋骨形成術は4月に実施し、経過良好。

家庭復帰したものの、通院以外は閉じこもりがちであり一日中何もしない日々が続いている。今後の事を家族が心配し身体障害者手帳申請の際に役所の福祉課へ相談したところ、相談支援事業所を紹介され相談支援を受ける。その際に自立訓練（機能訓練）のを知り当事業所に利用相談があった。本人も自立訓練利用を希望したため、相談支援事業所と連携し、サービス等利用計画を策定の上、平成×年10月から通所を開始する（1年間の利用を想定）。

【医学的所見】

原疾患：頭部外傷による脳挫傷・急性硬膜下血腫

ブルンストローム・ステージ：上肢 IV、手指 IV、下肢 IV

日常生活自立。移動は、短下肢装具装着＋T字杖での単独歩行及び階段昇降可能。現在、1カ月に1度の定期受診で術後経過観察中。抗てんかん薬服用

【利用契約時の希望】

本人：訓練を受けて、左片麻痺を改善したい。就職内定をもらった会社で仕事がしたいが、上手くいく自信はなく先の事は考えられない。

家族：退院時には日常生活は自立したので規則正しい生活を送るようになって欲しい。病院では自分で何でも行うように言われたが何もしようとしないし、

個別支援計画作成のための事前利用者情報

お昼を過ぎても寝ているような日もある。会社は採用時期延長をしてくれているが、本当に就職して仕事ができるのかが不安。

【初期面接】

- ・ 地元の小・中学校を卒業。高校は地元の進学校に進学、大学は自宅から通学できる有名私立大学経済学部を卒業し、A県にあるメーカー総合職として就職する予定であった。高校までは水泳競技を続けインターハイ出場経験もある。大学入学後、軽音楽サークルに入り（主にドラムを担当）熱心に取り組む。社交的な性格で友人も多かった。自動車免許も大学2年次の夏に取得している。
- ・ 大学は卒業し、就職は入社日延長となっている。
- ・ 現在の生活は、自宅でテレビ鑑賞や深夜までインターネット閲覧しながら過ごす日が多い。
- ・ 家族は父（56歳・会社員）、母（52歳・自宅で料理教室を開催している）、妹（20歳・大学生）。全員同居。関係良好。